

2019 年 医療統計実習コラム

4月9日

日曜、天気も良く、恵子先生と花見としゃれこむ。お弁当とお酒を持って鴨川へ。その前に錦林小学校で市議会議員の投票をすませ、市民としての義務を果たす。「今日は市議だけです」といわれ、あれっと思ったが、なんでも左京区の府議は立候補者が3名しかなく無投票当選となっただけらしい。京大病院の前をぶらぶら歩いて鴨川にでる。ウイルス研前の枝垂れ桜がみごとであった。鴨川は人人人、どこにこんなにいたのか、というくらいの人である。が、かまわず桜の木の下にシートを広げ、恵子先生とふたりで陣取る。暑いくらいなのでまずはビール、よなよなのホワイト IPA で乾杯。たこちゃんソーセージをつまむ。ついでよなよなの春限定ベルジャンエール。花見と言えば玉子焼きである、決して出し巻ではなく関東風の甘い玉子焼き。おにぎりは三種、鮭(築地喜代村の甘塩)、明太子(博多稚加栄)、梅干(紀州村の梅のうす塩)、おにぎりにはビールより日本酒、山口の名酒五橋とおにぎり、これまた米の飯は酒と合う。最後によなよなエールも飲み、昼からすっかり出来上がったふたりであった。

4月16日

土曜、天気も良く今年には桜がよく持ったので再びお花見に行くことに。うまいそばが食べたかったので、御所南の〔花もも〕で腹ごしらえする。シンプルにざるそばと追加のざる1枚を恵子先生と分けていただく。そばの香りがよく、すっかり満足して裁判所の枝垂れ並木を見物し京都御苑へ。ソメイヨシノはほぼ終わりかけだったものの、早咲きの八重、御車返しの桜(後水尾天皇がその美しさに御車を引き返させたといわれる)、枝垂れを堪能する。夕方、今度は岡崎公園の枝垂れを観ようとでかける。ベンチに座って桜をみながら小宴会。そら豆とチーズをあてに、ヒューガーデンホワイト、ブリュードッグの5AM Saint を学生さんたちからいただいた木製のカップで飲む。風流だが、だんだん冷えてきたので帰宅して本格的に宴会。

4月23日

土曜はオープンキャンパス東京、午後からなので9:48 京都発ののぞみで出かける。行きの中はレポート読み。まずは腹ごしらえ。会場は東京駅から歩いて20分弱の日本橋ライフサイエンスビル。去年は会場の近くでお昼を食べようと思っていたのだが、どこもかしこも混んでいて行列だったので今年は東京駅で済ませていくことに。地下の〔ハゲ天〕へ。1458円のオリジナルランチというのがあったので、ちょっと高いがそれにする。海老3本(1本は桜葉巻)、新牛蒡、新じゃが塩辛バター、ホワイトアスパラと舌平目のサフランソース、鰻四川風さんが揚げ、ひよこ豆と玉ねぎと小海老のかき揚げにあさりご飯、みそ汁。白いご飯が食べたく、めずらしくお代わりまでしてしまった。お腹いっぱいぶらぶら歩いて会場

に。いまさら社会健康の概要説明を聞いてもしょうがないので、医療統計・臨床統計の説明会場でメールを見たり本を読んだり。で、15時から個別説明会の開始。今年も30人以上の方たちがきて大盛況だった。先生と田中先生はふたりでせっせと受験希望者との面談をこなす。17時まで15名の面談を終えました。次は5月11日の京都、みなさんよろしくね。

日曜は天気も良くふたたびお花見へ。今回はデパ地下で弁当を買うことに。バスで大丸にでて、恵子先生と一通り物色する。揚小路というから揚げ専門店では海老、鶏、たこ、稚鮎など6~7種のから揚げが詰まったセット、豆藤でお惣菜の盛り合わせ、正起屋でつくねともも串、ポールボキューズでシーザーズサラダ、吉野鶏飯保存会がきていたので鶏飯握りを2個、野沢菜と鮭の握り飯をゲットして秘密のお花見スポットへ。家族連れで大賑わいのところ、桜の木の下にシートを敷いてお花見の開始。よなよなの春限定ベルジャンエールでサラダとから揚げをつまむ。曇り空だが暑いくらいでビールがうまい。次いでよなよなのクラフトザウルス、焼き鳥でビールが進む。最後はお惣菜とおにぎりで山口の名酒「五橋」。昼からこたえられません。すっかり酔っぱらって満足し、しばしば一つとした後晩のおかずを買いに再び大丸に。

酔っぱらって面倒なので晩は買ったものを並べるだけにしよう、とチーズセット、そら豆、善太郎屋の鶏の炭火焼きを買って帰る。フランスパンを解凍してカマンベールとタレツジョ、そら豆で最初はヒューガーデンホワイト。タレツジョはかなりしょっぱい。土曜にふるさと納税の箕面ビールが届いたので続いて箕面のヴァイツェン。どちらもうまい。菜の花がほんの少しあったので、きゅうりと紫蘇を塩もみにし、菜の花と九条ねぎをゆがいて、わかめと辛し酢味噌で和える。春だねえ。もう日本酒なので昼に続いて五橋の無垢の酒を。鶏の炭火焼きは独特の香ばしさと歯ごたえがあり逸品である。恵子先生手作りの肉じゃが、山椒をたっぷりふっていただく。いずれも五橋に合っておいしくいただく。冷凍しておいたたけのご飯でやる。

5月7日

きみたちは雉を食べたことがあるだろうか。ふるさと納税で珍しいものを、と雉肉を頼んだ。連休に届いたので説明書をみながらまずは雉鍋。ガラまでついていて、ガラを2時間煮だして出汁を取り、その出汁で鍋を作る。雉肉は過熱しすぎると固くなるのでしゃぶしゃぶで、とのこと。鶏ということはわかるがなんの肉なのかわからない変わった味。次いで胸肉に焼き目をつけて酒・みりん・醤油で少し煮る。鴨ロースならぬ雉ロースのつもりが過熱すぎて固くなってしまった。失敗。固くなる、というのなら最後はもも肉をコンフィに。恵子先生はコンフィが一番うまいといていた。珍しく、いろんな食べ方で楽しんだものの、次回は猪にすることに。

5月14日

11日のオープンキャンパス、みなさんご苦労様でした。講堂に入りきらないほどの満員で、

臨床統計家育成コースの説明会にも 50 人以上きてもらいうれしい悲鳴でした。(今年も 3 時間以上の面談で疲れた。)オープンキャンパス終了後は恒例の打ち上げ、昨年までは医療統計集会室で行っていたのだが、もう人数が多くて部屋では無理なので丸太町〔Sheep's〕へ、総勢 27 人ででかける。ナチョ、蒸し鶏のサラダ、から揚げ、ピザ、タコめん(これがピリ辛でうまい、ソーキそばの麺にタコライスのを乗せた、パスタのような汁なし担々麺のような不思議な食べ物)、チキンナゲット、と食べきれないくらい。先生はビールだが、一部でパイナップルジュースが人気。自己紹介は「これでわたしの右に出る者はいない」で盛り上がる。9 月の医療統計実習発表会後の打ち上げは例年 Sheep's で行っているの、みなさんお楽しみに。

5 月 28 日

土曜、天気も良く府立植物園へ午前から出かける。植物園をぶらぶらした後、昼は北山のよしむら北山楼で蕎麦をいただく。植物園は薔薇の香りでいっぱい、なぜか薔薇園ではメイド服を着た人が写真を撮っていた。いつもはあちこち寄り道する恵子先生なのだが、なぜかしゃくなげ園にもさほど興味をしめさず、すたすたと園外に出てしまう。まあちょうどお昼なので北山楼へ。しばらく待ったのち席に案内され、「箱そば天ぷら」という、蕎麦 3 人前に天ぷらが付くお二人様にとってはお得なセットを頼む。と恵子先生はミニ丼の親子丼も追加、なんでもお腹が減ってしかたがなかったんだとか。そばも天ぷらも、そば湯もおいしかった。

6 月 4 日

先週は期せずしてケチな先生としては豪華なランチが続いた。水曜は「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」という長い名前の会議でひさしぶりの東京出張。たいてい伊勢丹の地下で弁当を買って新幹線に乗るのであるが、この日は週替わりの出店に〔キャメロン〕が来ていたのでハンバーグ・ステーキ弁当(1350 円)を購入。ハンバーグはおいしかったがステーキは肉が固くて今一つであった。公知申請という「世界的にも知られているので、日本で試験しなくても承認していいよね」という制度があり、検討会議でも公知申請が 1 件あったのだが、とても公知とは思えず困ったものである。最近こういうのが多いんだよね。

木曜は神戸ポートアイランドの理研で会議。三ノ宮の駅からすぐのところに〔グリルー平〕という洋食の名店があるというのでいってみる。12 時過ぎに着くとすでに数人並んでいて、『どうしようか』と思ったが意外と回転が速いようなのでおとなしく列につく。御一人様はどんどん先に入れてくれるので、10 分も待たずに入店。ここはビフカツが有名とのことなので、奮発して店長お勧めのヘレビフカツ(1600 円)を。ビフカツは柔らかく間違いないのであるが、デミグラスソースの味が強すぎてデミソースの味だけとなってしまったのが少々残念であった。

金曜は土居先生の「多重性の考え方」に講義に来ていただいた東大の上村先生と百万遍の[まどい]へ。以前は超庶民的な洋食屋で日替わりがなんと 600 円、お昼にはよくいていたのであるが 2016 年に突然閉店。昨年復活したものの高級店となってしまった。本日のランチ(1500 円)を頼む。本日はサーモンムニエル、ミンチカツ、ポークソテー。3 種いずれもとてもおいしく、3 日間のプチ贅沢ランチの中では一番でした。シェフの腕がいいのだろうね。

6月11日

金曜から集中講義「観察研究の統計的方法」がはじまった。午後 3 コマぶっ続けの講義で、寄る年波には勝てず、喉は痛くなるわ膝はがくがくするわ、で困ったものである。まあ好きでやっている難しい講義なのでいたしかたない。疲れたときはおいしいものを食べるに限る。金曜は恵子先生が医療安全管理部の宴会とやらで留守なので、支度してひとり飲みである。冷凍しておいた鯛の残りを解凍し、たっぷり塩をして 30 分置く。余計な水分が流れたら軽く水洗いし、ワイン酢(白ワインと千鳥酢を 1:1 にしたもの)にまた 30 分漬ける。これで鯛の酢締め完成。ジャガイモを電子レンジで蒸して、きゅうりと玉ねぎを塩もみしポテトサラダを作る。じゃがいもは熱いうちに塩コショウし、池波正太郎さんのエッセイに「ポテトサラダに辛子をたっぷり入れたらうまかった」とあったので、うちでは酢のかわりにつぶマスタードをたっぷり入れる。マヨネーズで味を調べてできあがり。ソーセージを焼き、コンテ(チーズ)とポテサラをあてに、よなよなで乾杯。あーっ、講義の後のビールはうまい。ビールをもう一杯、Brewdog の 5AM Saint を開ける。こちらはアンバー。さて鯛の酢締めにはきゅうりの塩もみと九条ねぎを茹でて酢味噌で和える。これはもう酒、滋賀の名酒「三連星」を開ける。麴の風味がよくうまい。×はステーキ丼。霜降りの肉はどうも油が苦手なので、これも冷凍しておいた赤身の牛もも肉を解凍する。ステーキには揚げにんにく醤油が合う。博多の料理屋[小谷]で教わったもので、小谷では刺身にあわせてくれたのだが、『これ絶対にステーキに合うよな』と帰宅してから試したところ最高であった。にんにく一かけを薄切りにして少量のごま油を敷いて弱火で揚げるように焼く。きつね色よりやや色づいたところで取り出して醤油につけておく。ステーキは筋切して両面を焼き、アルミホイルでくるんで 5 分ほど落ち着かせる。これを斜めにそぎ切りにして、揚げにんにく醤油をまぶしてご飯にのせる。うまい。これまた酒が進む。

6月18日

ルネに行ったらマーク・グリーニーのトム・克蘭シー ジャック・ライアンシリーズの最新刊「イスラム最終戦争」の 3, 4 が平積みになっていたの、楽天ブックスで 1, 2 を注文し、次の日、再びルネで 3, 4 を購入。(1, 2 はちょうど楽天で買い回りをやっていたため。3, 4 は実はローダンシリーズの 594 巻を買いに行ったついで。)マーク・グリーニーのトム・克蘭シー ジャック・ライアンシリーズ、といっても知らない人にはなんのことかわからないだろうが

(当たり前だ)、トム・克蘭シーという作家がジャック・ライアンを主人公にしたスパイシリーズものを書いていたのだが、残念ながら数年前に死去、しかし人気のシリーズだったので別な作家(それがマーク・グリーンニー)が設定を活かしてシリーズを書き継いだ、というもの。マーク・グリーンニーは克蘭シーの生前から共著でシリーズの執筆をしていたので、なにか禅譲のようなものがあったのかもしれない。ライアンはスパイとはいっても敵国に潜入したり汚れ仕事をする現場要員ではなく、ネットワーク情報や衛星画像から敵国の動きを読み取る情報分析が専門。先生も情報分析するスパイならやってみたいんだがなあ。(といってもだんだんと現場要員もこなし、銃撃戦も辞さないようになるのだが。)最初に読んだのはもう 30 年も前の 1989 年、「レッドオクトーバーを追い」だった。そのときはまだ歴史家から CIA の下っ端局員になったところだったが、CIA 情報担当副長官、国家安全保障問題担当大統領補佐官、副大統領、そしてとうとう大統領になってしまった。だいたい主人公よりも副主人公や独特の存在感のある登場人物のほうを好きになるたちなので、このシリーズでもライアンよりもジョン・クラークという筋金入りの現場要員が気になって仕方がない。年に 1 作のペースで、登場人物もリアルタイムに年を取り、周りの人たちもだんだんと偉くなり、ライアン大統領を支えるスタッフであったり、重要な役を担っていたりするのも楽しい。今のシリーズではライアンの息子のジャック・ジュニアが主人公(たぶん)なのだが、相変わらずクラークは頑張っている。(しかし今の設定は民間組織が非合法的な活動をするもので、いくら合衆国の利益となるとはいつても、倫理的にまた国際法的に問題があるように思うのだが、しょせん小説なのでいいのか?)一番おもしろかったのはやはり「日米開戦」の後、副大統領のライアンが大統領となった合衆国に襲い掛かるエボラウイルスによるバイオテロを描いた「合衆国崩壊」。疫学 1 の講義で紹介した疫学の定義は、この合衆国崩壊の中からとったもの。なんでも合衆国に生物兵器が使われた場合、敵国に生物兵器による報復ができるらしいのであるが(このあたり、ほんとうかどうかよくわからない)、恐ろしいことにアメリカ合衆国は生物兵器を持たないので、それと同等の核兵器で攻撃してもいいらしいので、合衆国にバイオテロをしかけるのはやめたほうよさそうだ。

6 月 25 日

先週は久しぶりに 2 回も東京出張が入ってしまった。月曜は慶応大学病院の臨床研究センターに臨床統計家育成コースの M2 ふたりと訪問。だいぶ以前疫学会の学会誌 Journal of Epidemiology の編集委員をしていたときにマネージングエディターだった橋本さんが予防医学校舎の受付にいて、お互いびっくり。世間は狭い。センター長の佐谷先生に学生の就職のことなどのご挨拶とお願い。木曜は薬事分科会、前日に定足数ギリギリなので必ず出席するようとのメールが来る。ところが、委員のおひとりが 15 分遅れると連絡がありました、と事務局。分科会の冒頭が公開となっているので議事をはじめられず、無為に 15 分待つ。15 分遅れでようやく始まったものの、特に問題となる品目はなく 2 時間の予定の会議が 45 分で終了。こんなだったら行かなくてもよかったのであるが、そうすると定足数に

足りず流れていたのでもあよかったのか。とはいうものの 45 分の会議のために(いや 2 時間でも)往復 5 時間かけて東京まで行かなければならないのはなんとかならんものか。

デパ地下で食材をいろいろと見るのは楽しいものだが、最近藤井大丸のデパ地下がお気に入りである。なんといっても庶民的だし鮮魚コーナーの品ぞろえがいい。土曜もバイ貝があったので迷わず購入。中くらいの大きさのものが 6、7 個入って 400 円くらい、昨年からはまりまくっている。どうやって殻をはずしたらいいのか、よくしたもので検索すると動画がアップされている。なんのことはない、殻を外すのではなく叩き割ればよいそうだ。肉叩きを使って殻を割り身を取り出す。バイ貝といえば煮つけだが、新鮮なので身を刺し身にし、ワタは湯がいてねぎをたっぷり刻んでポン酢でいただく。動画では身をそぎ切りにして全部刺し身にしていたが、けっこうな量があるので、贅沢にうまくそぎ切りにできた部分だけを刺し身としていただく。これでワタのねぎポン酢と 2 品、いずれも日本酒によく合う。土曜は鳳凰美田と合わせる。で、うまくそぎ切れなかった部分は、というと、もちろん次の日バタ炒めにする。これはもうビールに合うこと間違いない。以前はバタ醤油炒めにしていたのであるが、この日は醤油抜きにしたところ、これまたうまい。よなよなどともおいしくいただいた。

7月2日

先週は木曜が PMDA で薬剤疫学研修、金曜の観察研究は 2 コマだけだったが、夕方から民医連中央病院で講義。どうなっておるのだ、と毎年コラムに書いているので進歩がない、というべきか。木曜は台風が来ているというので遅れないように余裕をもって出かけたのだが、杞憂であった。お昼は東京駅で四川料理の店に入り四川担々麺を頼む。行列していて、先生が入店した後も続々と客が来るので期待して待つ。ところが、出てきた担々麺は辛いだけでうまみもなにもなくがっかり。もうこの店には二度と行かないことに決まったらしい。まだ時間があるので東京オフィスでこの実習の手引きを仕上げる。と、隣の学生(?)がスカイプをはじめた。我慢していたが、先生よりも離れたところに座っていた(たぶん)教員に注意されようやく出て行った。

7月9日

オースン・スコット・カードの「エンダーのゲーム」という SF がある。何年か前に映画にもなったので知っている人もいるかもしれないが、続編もあり、しかしその続編は直接のものではなくエンダーが大人になってからのもの。(といっても、もとの話から 3000 年が経過している。)直接の続編と言うのかどうかわからないが、「エンダーのゲーム」を別な主人公の物語として書いた「エンダース・シャドウ」があり、ビーン(豆粒)という少年の物語である。(設定が子どもでないと成り立たないのである。)こちらもシリーズとなっていて、邦訳に「シャドウ・オブ・ヘゲモン」、「シャドウ・パペッツ」、未訳の「Shadow of the Giant」、「Shadows in Flight」がある。早川書房というところは、シリーズものの翻訳を途中まで刊行しながら打ち切るといふ、採算が取れないからなのであろうが、困った会社で、カードの別なシリーズで

も、「地球の記憶」、「地球の呼び声」と翻訳しながら、残り三作はほったらかしである。シャドウシリーズはたいへんおもしろいのでなんとかしてほしいのであるが、なんともなりそうもないのでとうとうあきらめて「Shadow of the Giant」を何年か前に買ったものの、英語で読んでいても『勉強している感』が強くて、純粹に小説を楽しめず、途中で放り出していた。最近になってなぜか再びむらむらと続きが読みたくなり、Shadow of the Giant を手に取り読みだすと、年を取って細かいことが気にならなくなったためか、分からない英単語を調べようとも思わずなんとなく最後まで読めてしまった。(本当に読めているのか?、という問題はさておき。)調子に乗って Shadows in Flight もネットで購入し、こちらもなんとか読み切った。(1冊読むのに1ヵ月かかった。)となると最初から読みたくなり、先週木金土で「エンダーズ・シャドウ」を読み終わり(当たり前だが日本語だと早い)、いまは「シャドウ・オブ・ヘゲモン」を読んでいる途中である。(ビーンが Giant になるのであるが、なんのことか分からないだろうね。)続編の「Shadows Alive」も予定されているというので結局買うんだろうな。